

各 位

平成10年7月28日

大 和 証 券 株式会社
代表取締役社長 原 良也
千代田区大手町2丁目6番4号
(コード番号 8601 東証第1部)

大和証券の持株会社化 および 大和証券と住友銀行の戦略的提携について

・大和証券の持株会社化

大和証券は、本日の取締役会において、各事業部門を分社して持株会社体制に移行する方針を決定いたしました。

当社が業界他社に先駆けて持株会社化に踏み切る狙いは、大和証券の一体性を保ちつつ、ビジネス分野毎の個性に応じて自律性を発揮し、競争力と成長性を高めることにあります。

具体的には、当社グループのビジネスを、持株会社の統括の下で、業務の特性に応じてリテール証券業務、ホールセール証券業務、デリバティブ業務、アセット・マネジメント業務等に分社化します。

このような体制とした上で、ホールセール証券業務、デリバティブ業務、アセット・マネジメント業務の3分野については、住友銀行と合併事業を行い、両社のノウハウの融合によるサービスの向上、顧客基盤の拡大、変革のスピードアップを図ります。

持株会社化につきましては、株主総会の決議および所要の官公庁等の許認可等が得られることを条件として、来年4月1日を目途といたします。

・大和証券と住友銀行の戦略的提携

大和証券と住友銀行は、ホールセール証券業務、デリバティブ業務およびアセット・マネジメント業務の各分野において、お客様に対し最も質の高いサービスを提供できる体制の構築へ向けて戦略的提携を行うことで、本日、基本合意いたしました。

両社は、日本版ビッグバンを踏まえた今後の経営環境について、上記の各分野で今後急拡大が見込まれること、お客様のニーズの多様化・高度化への対応が重要であることで一致した認識を持っております。

この提携の趣旨は、両社が持てる力を結集してお客様のニーズに的確に応えられる体制を構築し、

ビジネスチャンスを実際に捉えることにあります。

今回の提携を成功させるため、両社は長年培った顧客基盤、ブランド、商品開発やマーケティングの技術とノウハウなどを結集するばかりでなく、合併事業においては、外資系金融機関とのグローバルな提携や外部からの人材招聘も視野に入れるなど、あらゆる面でグローバルスタンダードを採り入れ、競争力の強化に努めてまいります。

提携の具体的な内容は以下の通りであります。

1. ホールセール証券業務における合併事業

本邦において他に類を見ない大手証券会社と大手銀行の本格的な提携により、お客様に最適なサービスを提供するホールセール証券会社を構築いたします。

- 名 称：大和証券S Bキャピタル・マーケッツ株式会社（仮称）
- 業 務 内 容：エクイティ・債券の引受、販売、トレーディング業務およびM&Aを始めとするインベストメントバンキング業務。
- 資 本 金：3,000億円程度
- 出 資 比 率：大和証券60%、住友銀行40%
- 経 営 陣：社長には原良也大和証券株式会社社長が就任する。
- 業 務 の 移 管：大和証券、住友銀行および住友キャピタル証券の関連業務を合併会社へ移管する。
- そ の 他：海外業務については、両社グループがそれぞれ大胆なスリム化と効率化を行った上で統合する方向で検討する。
また、金融先端分野におけるノウハウ、海外におけるネットワークに強みのある外資系金融機関と提携していく予定。

2. デリバティブ業務における合併事業

大和証券、住友銀行それぞれのデリバティブ業務における強みを統合し、加えて新たな経営手法や人材を採り入れることにより、広い業務範囲において圧倒的な競争力を有するデリバティブ・ハウスを構築いたします。

- 名 称：SBCM大和証券ファイナンシャル・プロダクツ株式会社（仮称）
- 業 務 内 容：金利、通貨、クレジット、エクイティ等にかかるデリバティブ業務。
- 資 本 金：500億円程度
- 出 資 比 率：大和証券50%、住友銀行50%
- 経 営 陣：取締役会のトップは、当初は住友銀行側が指名する。
業務執行役員のトップは外部からの招聘も含め検討する。
- 業 務 の 移 管：大和証券および住友銀行の関連業務を合併会社へ移管する。
- そ の 他：ホールセール証券業務の合併会社と有機的連携を維持しつつ運営する。

3. アセット・マネジメント業務における合併事業

今後、急拡大が予想されるアセット・マネジメント分野におけるリーダーシップ確立へ向けて、投信・投資顧問業務における合併事業を行います。また、確定拠出型年金の導入に向けた共同事業を検討します。

(1) 投信・投資顧問業務における合併事業

名 称：ダイカムS Bアセット・マネジメント株式会社（仮称）
業 務 内 容：投資顧問業務ならびにプライベートバンキング向け等特定セグメントのニーズに
対 応 した 新 し い 投 資 信 託 商 品 の 開 発 業 務
資 本 金：未定 }（外資系運用会社との提携を検討中のため）
出 資 比 率：未定 }
業 務 の 移 管：大和投資顧問を母体に、住銀投資顧問およびS B I M投信を合併する。

（２）確定拠出型年金の導入に向けた共同事業

わが国における確定拠出型年金の導入に向けて、レコードキーピング事務等のシステムやコールセンター等のインフラ開発、商品のマーケティングなどにつき、共同事業を検討します。

4. 実施時期等

両社は設立準備委員会（仮称）を設置の上、年内を目途に上記の1、2、3に関する最終合意を行う予定です。

各社株主総会の決議、所要の官公庁等の許認可等がえられることを条件として、各合併会社の営業開始時期の目標を来年4月1日とします。

以 上

お問い合わせ先
大和証券 広報部 03(3243)3177